

# 岐阜県バレーボール協会 2030 年構想

## ◇岐阜県バレーボール協会の目的

本会は、岐阜県におけるバレーボール競技の普及・発展を図ることを目的とする。

## ◇2030 年の到達点

私たち本会及びバレーボール界は一丸となり「つなぐ力」を県内全体に根付かせることで、バレーボールがある素晴らしい将来を実現させていく。そのためにはまず、私たちが行う事業範囲・内容の再定義と同時に、組織力・人材の強化といった基盤を整備しなければならない。そのうえで JVA や JSPO の方針等を考慮しながら以下の5つのバランス良い将来の実現を目指して活動することで 2030 年の到達点の達成を目指す。

### 1. 競技人口 登録競技者数 12,000 人

岐阜県在住の人々が笑顔でボールをつなぐ将来

### 2. 普及 Vリーグ大会4回以上、全国大会開催

バレーボールの素晴らしさが誰にも認められる将来

### 3. 競技力 国体ブロック大会4種別突破、全国大会でのベスト8

選抜等チームが全国のチームと互角に戦う将来

### 4. 育成 指導者・役員の育成 2,000 人

バレーボール競技を安心して行える将来

### 5. 高潔性 暴力・体罰・ハラスメントの根絶

バレーボールが嫌いな子供が一人もない将来

## <JVA と JSPO>

JVA:公益財団法人日本バレーボール協会 JSPO:公益財団法人日本スポーツ協会

## <「将来」と「未来」の違い>

将来:ある人や組織などに対して、これからやってくるかも知れない具体的な時間

対象となる人に確実に訪れる時間であり、そう遠くないことを表している

未来:特定の人物ではなく、誰に対しても平等に訪れる時間で、「過去・現在・未来」の様に、一般的な時間の概念としてざっくり使われる 例えば「1000 年先の未来」など、遥かに遠い先のことを言う場合、「将来」ではなく「未来」を使う